

令和4年産 仙南稲作情報（第1号）

令和4年6月13日発行
宮城県大河原農業改良普及センター
TEL：0224-53-3496 FAX：0224-53-3138
※この資料に関する問い合わせは、
上の連絡先までお願いします。

○周期的な曇雨天，5月末からの日照不足，低温により生育は緩慢。
○深水を避け，間断かん水で生育促進。

1 気象経過

・5月11日から6月9日までは，周期的な曇雨天のたびに，最高気温が上がらず，平年に比べて最高気温が低く（ -0.9°C ），日照時間も少なかった（92%）。また，5月27，6月6～7日にまとまった降雨があったため降水量は多くなった。

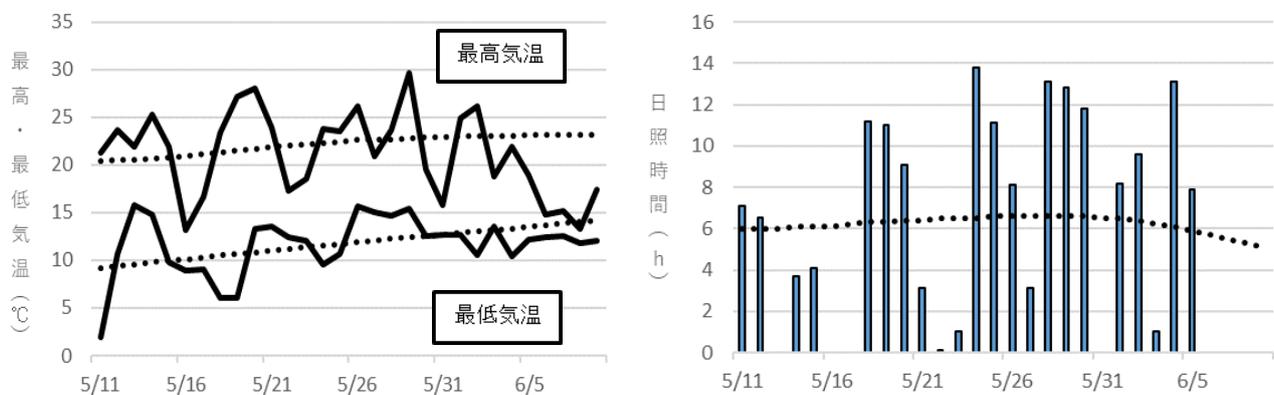


図1 気象経過（丸森アメダス，5月11日～6月9日）

2 管内の生育状況

【6月10日調査結果】

□ 皆さんのほ場と場所や品種，田植日が近いところのデータを参考にしてください。

生育は，草丈は短く，茎数，葉数とも少ない

(1) 主要品種（「ひとめぼれ」「つや姫」等）

表1 管内の生育調査結果（6月10日）

No	ほ場所在地	地帯区分	品種	田植		草丈			茎数			葉数			葉色		
				本年	前年	(cm)	平年比	前年比	(本/m ²)	平年比	前年比	(枚)	平年差	前年差	(GM)	平年差	前年差
1	角田市	南部平坦	ひとめぼれ	5/18	5/14	26.6	84	86	102	35	38	6.7	▲1.4	▲0.7	34.3	▲9.9	▲9.4
2	大河原町	南部平坦	ひとめぼれ	5/7	5/8	28.0	86	90	363	93	121	7.5	▲0.5	▲0.6	43.3	▲2.2	▲5.9
南部平坦「ひとめぼれ」平均				5/12	5/11	27.3	85	88	233	64	80	7.1	▲1.0	▲0.7	38.8	▲6.0	▲7.7
3	角田市	南部平坦	つや姫※	5/23	5/20	20.6	65	64	84	53	53	4.6	▲1.5	▲1.2	—※	—	—
4	村田町	南部平坦	つや姫※	5/4	5/4	26.0	89	90	256	93	91	7.1	▲0.8	▲0.4	43.1	▲4.3	▲7.3
5	白石市	西部丘陵	ひとめぼれ※	5/13	5/15	20.8	78	85	56	53	51	6.1	▲0.6	▲1.5	27.5	▲8.8	▲13.2
6	七ヶ宿町	山間高冷	やまのしずく	5/23	5/22	20.5	90	84	104	125	143	4.3	▲1.1	▲1.5	24.7	▲4.9	▲8.8

◆平年値は前5か年(H28～R2)の平均値

※角田市「つや姫」は調査4年目のため過去3年の平均値を平年値とした。村田町「つや姫」は調査3年目のため過去2年の平均値を平年値とした。なお，角田市「つや姫」は葉身が細く，葉色を計測できなかった。

- 管内全般に平年よりも草丈は短く、莖数は少なく、生育量は小さい。周期的に低温と日照不足が繰り返されたことと、5月末以降の低温、日照不足により葉の展開と分けつの発生が緩慢だったことが影響していると考えられます。また、葉色が淡いことも生育が緩慢な要因と考えられます。

(2) 「だて正夢」(粘りの強い低アミロース米)

表2 「だて正夢」の生育調査結果(6月10日)

ほ場所在地	地帯区分	品種	田植		草丈			莖数			葉数			葉色		
			本年	前年	(cm)	前年値	前年比	(本/m ²)	前年値	前年比	(枚)	前年値	前年差	(GM)	前年値	前年差
角田市	南部平坦	だて正夢	5/7	5/4	34.7	36.1	96	206	331	62	7.7	8.1	▲0.4	40.5	45.0	▲4.6
蔵王町	西部丘陵	だて正夢	5/21	5/19	26.8	23.5	114	84	99	85	3.9	4.8	▲0.9	=※	36.0	-

※蔵王町のだて正夢は葉身が細く、葉色を計測できなかった。

- 角田市のほ場では、草丈は前年よりやや短く、葉の展開がやや緩慢なため葉数はやや少なく、莖数も前年ほど増加していません。
- 蔵王町のほ場では、草丈は前年よりやや長く、莖数はやや少なめです。深水を避け、莖数増加に向けて浅水管理が有効です。

3 今後の管理

〔病虫害防除〕

① 葉いもち

< 防除のポイント >

❑ 残苗(補植用残苗)は、早急に処分しましょう。

補植用残苗を放置するといもち病の感染源となり、葉いもち発生を助長する可能性があります。早急に処分しましょう。

❑ 葉いもち予防剤を箱施用していない場合

低温、日照不足が続いており、葉いもちが発生しやすくなっています。予防剤は6月20日頃までに散布しましょう。

- 葉いもちの進展は生育不良を招いたり、穂いもちの発生を助長するなど減収につながります。水田をこまめに見回り、早期発見、早期防除に努めましょう。

② イネミズソウムシ

< 発生予察 >

- 発生時期:「平年よりやや早い(5/26~31)」, 発生量:「平年よりやや多い」

< 防除のポイント >

- 田植時に箱剤剤を使っていない場合には、発生状況をよく観察し、防除しましょう。

【 雑草防除 】

- 5月下旬前半までに田植したほ場では残草に注意しましょう。草種と生育量、稲の葉齢を確認し、適切な薬剤を選んで、適期に処理しましょう。
- 5月下旬後半以降に田植した場合には、散布後1週間の湛水管理を行い、その後に間断かん水を行いましょ。

- ❑ 最新情報で農薬登録を確認のうえ、使用してください。
- ❑ 農薬使用の際に飛散防止対策を講じましょう。

【 水 管 理 】

- 本田中期の水管理としては、間断かんがいを行いましょう。
- 地温の上昇に伴い土中の酸素が不足し、有害物質（メタン、硫化水素等）の発生が目立ってくる時期です。間断かんがいで根の活力維持に努めましょう。
- 漏水している水田が散見されます。水稻の生育のためにも畦畔のザリガニ穴等を塞ぐとともに、畦波板等で漏水を防止しましょう！
- 生わらや未熟堆肥をすき込んだほ場では、有害物質（硫化水素ガス等）が発生し易く、生育が阻害されることがあります。この場合には一時落水して、有害物質を除去しながら土壌への酸素供給を行いましょ。
- 中干しは、目標茎数（450～500本/m²）を確保してから実施しましょう！

表4 株当たりの目標茎数

植付株数	目標茎数
50株/坪	30～33本/株
60株/坪	25～28本/株
70株/坪	21～24本/株

※茎数の数え方：主茎と分げつの数を数えます。分げつは、新葉が出てきている茎を数えます。

「だて正夢」の目標茎数は「360～400本/m²」です。

【 中 干 し 】

- 年々田植時期が拡大していることも影響して、水稻生育は、ほ場間差が大きく、生育が旺盛なほ場では、目標茎数が確保されたほ場も見られます。
- 目標茎数（目標穂数）を確保したら、根の活力向上、無効分げつの発生抑制、土壌物理性の改善のため、中干しを行いましょ。
- 中干しの程度は、田面に小さな亀裂が入り、足跡が付く程度の固さまでとし、遅くとも幼穂形成期までには終えるようにしましょ。
- 中干し終了後に、急に湛水状態にすると土壌の還元が進み、中干しをしない場合よりも、酸素不足になり根を傷めやすくなります。
- 中干し終了直後は走り水程度とし、徐々に湛水状態に戻します。

4 直播栽培における管理のポイント

【6月10日調査結果】

○水稲直播き栽培（鉄コーティング湛水直播き（点播）：品種「ひとめぼれ」）

- ・直播栽培展示ほの苗立ち本数は63本/㎡で、「ひとめぼれ」の目標（60本/㎡）を確保しています。
- ・生育調査結果では、前年の生育と比較し、草丈は短く、葉数が少なく、茎数も少ない状況となっています。特に5月末からの日照不足と低温の影響と思われます。

表5 「水稲直播展示ほ」の生育調査結果（6月10日）

ほ場所在地	品種	播種月日		苗立数(本/㎡)		草丈		茎数		葉数	
		本年	前年	本年	前年	(cm)	前年比	(本/㎡)	前年比	(枚)	前年差
蔵王町	ひとめぼれ	5/10	5/11	62.5	69.3	15.0	86	63	60	2.9	▲ 2.1

【水管理】

- ・除草効果を維持し、分けつの発生を促すため、浅めの湛水管理を行いましょ。
- ・目標穂数（ひとめぼれ：450本/㎡）の80%程度の確保に向けて水管理に注意しましょ。

【雑草防除】

- ・残草している場合には、草種と生育量、イネの葉齢を確認し、適切な薬剤を選んで、適期に処理しましょ。

【病虫害防除】

- ・いもち病予防粒剤を播種同時施用や種子処理剤の施用を行っていない場合は、粒剤による予防防除を行いましょ。ほ場を観察し、早期発見、早期防除に努めましょ。
- ・イネミズゾウムシの発生がやや多い予報が出ていますので、早めの防除に努めましょ。

○令和4年度宮城県農薬危害防止運動実施中（6/1～8/31）

- 農薬の使用に当たっては、
農薬のラベルをよく読み、周辺へ配慮し、飛散防止対策を徹底しましょ！
- 最新の農薬情報は、農林水産省ホームページで確認できます。
(https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisei/index.html)

○春の農作業安全確認運動展開中（～6/30まで）

- トラクター等の自走式農業機械を操作するときはシートベルト、ヘルメットの着用を徹底しましょ。